

Book Review

診療室で今日からできる！ 子どもの口腔機能を育てる本 口腔機能発達不全症への対応

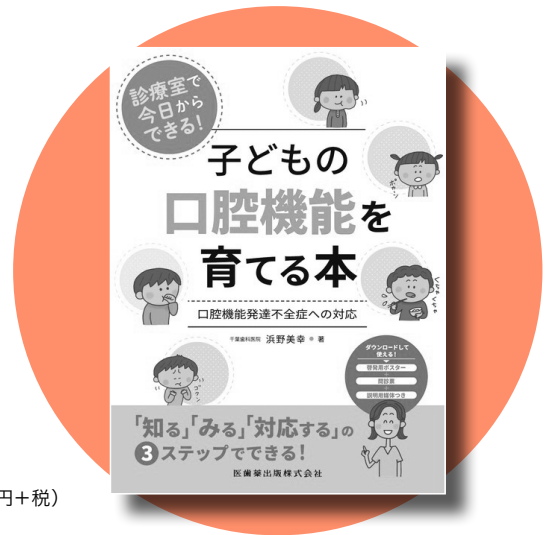
浜野美幸 著



Reviewer

河井 聡 Satoshi Kawai
(東京都・山口歯科医院)

A4判変、164頁
オールカラー
定価(本体6,800円+税)
医歯薬出版刊



著者の浜野美幸先生との縁は私が昨年に『口腔習癖 見逃してはいけない小児期のサイン』(医歯薬出版、2019年)を上梓した折、感想のメールをいただいたことに始まる。未開拓といっても良い小児の口腔機能、口腔習癖の先駆者であられる先生の今回の出版を聞いて、すぐに注文させて頂いた。

私は卒直後から所属していた欠損補綴中心の勉強会で、難症例を予防する観点から小児の口腔機能に興味をもつようになった。子ども達の口腔内を健全に導くことは将来にわたって口腔を安定させる最初の大きな1歩だと思っている。本書を拝読して、小児歯科で広く活躍されている浜野先生と共通して注目するものが多いことがわかり、この分野を探求することへの意を強くした。

口腔機能発達不全症が2018年に保険収載されたことから小児の口腔機能に取り組む先生も多くなるかと思う。保険制度も口腔機能も、それぞれ複雑で理解が難しいが、本書はそれをきちんと対応させ、その両方を組み合わせると同時に理解できるように構成され、日々の診療において口腔機能発達不全

症に取り組むための入門書として非常に参考になる。

小児の発達に関する情報が多く、普段小児の患者さんに接することの少ない先生方でも、診断・評価の大きな手助けとなる。子どもたちの健康に寄与したいという著者の強い想いから、子どもの実際の生活にも深い洞察力が示されている。口腔機能の問題の多くを姿勢や食事、呼吸などの広義の口腔習癖にあると捉える観点に共感した。子どもの口腔機能を育てるには家族の協力が欠かせないが、食事の摂り方などその子どもの生活環境を改善するための指導方法も記載されているため、口腔機能発達不全症を家族全体の問題として共有することができる。

口腔習癖の中止支援はその習癖を指摘し、改善方法を伝えれば成果が出るという単純なものではない。その子どもの習癖の診断だけではなく、性格、生活環境などを正しく評価して進めていく必要がある。そのためには小児の発達を理解する必要があるが、本書はその実際的な情報が豊富に記載されている。症例の口腔内写真だけではなく、なかなか撮影が難しい生活を切り

取った写真も多いため、学術的な小児の発達に関する情報だけではなく、その子どもの生活をどのように評価するかなどの生活に密着した情報も得られる。そしてトレーニングを進めるための実際の方法も詳しく記載されているため、指導の進め方を正しく理解することができると思う。

私は補綴の難症例になるリスクを軽減することから考えてきたが、著者は子どもをいかに健全に導くかという視野でこの分野に取り組んでおられる。本書からは、子どもたちのためにという著者の使命や深い愛情が汲み取れて、非常に感銘を受けた。それぞれ違う分野からのアプローチになったが、子どもの口腔機能を育て健全な発育に導き、将来のリスクを軽減するという予防の本質が歯科界でようやくフィーチャーされることになったのは大変喜ばしい。

口腔機能の診断、口腔習癖の改善が結局難しいというだけで終わることなく、多くの臨床家にぜひ本書を手にとっていただいて、この分野への理解を深めていただきたい。